

## 特集：水と衛生に目を向ける

女性と水

水に関する技術

水の専門家たち

グローバル・アウトルック

# GLOBAL OUTLOOK

 指定記事

THE ROTARIAN 11月号から

## きれいな水が課題

水、トイレ、衛生設備の総合的なアプローチは、数十億人が直面する問題を解決できる

私たちの多くにとって、水は毎朝の習慣に欠くことのできないものです。朝、起きると、トイレに行き、体を洗い、歯を磨きます。キッチンへ行き、やかんやポットに水を入れ、目覚ましのコーヒーやお茶を入れるための湯を沸かします。しかし、世界の中には、こうした習慣とは無縁の地域が数多く存在しています。きれいな水、トイレ、衛生設備がない日常を送っているのです。これら3つの問題は、世界中の何十億もの人々の命にとって中心的課題となっているのです。

8億8,400万人もの人が、飲料水、料理、洗濯に使う水を、自宅の蛇口をひねるのではなく、衛生的な管理のされていない井戸、川、ダム、湖、用水路、池からじかにくまなければならぬのです。トイレに関する統計は、さらに厳しい現実を示しています。25億人もの人が、水洗トイレ、コンポストトイレのように改良トイレを持っていません。都市であろうと農村であろうと、彼らはバケツや袋を使うか、穴を掘って利用するか、茂みや野原、空き地で用を足します。

その結果、何百万人もの健康や暮らしに壊滅的な打撃を与えています（感染症に関してはP 40を参照ください）。世界保健機関（WHO）によると、毎年、180万人がコレラ、腸チフス、赤痢などを含む下痢で亡くなり、そのうちの88%が汚染された水や不十分な衛生状態が原因であり、また140万人は5歳以下の子どもです。不衛生な水、不適切なトイレ、十分でない衛生状態が原因の栄養失調で命を落とす5歳以下の子どもは、年間



近くの川から飲み水や体を洗う水を調達していたドミニカ共和国のラ・グアアに、ロータリアンがきれいな水をもたらしました。国内で1万9,000のバイオ・サンド・フィルターを設置するために、200以上のロータリークラブが協力しました

86万人にもものぼります。糞便で汚染された土や食糧は、鉤虫症、回虫症などの腸の感染症を引き起こし、全世界人口の3分の1に影響を及ぼしています。

水、トイレ、衛生の問題は、社会経済にも影響を与えています。水くみに何時間も費やさなければならない女性や少女たちは学校へ通ったり、仕事に就くことができません。トイレにプライバシーがないというのも、特に思春期の少女たちが学校に行きたがらない理由となっています。水を介して大人にも感染する病気が広がり、教師は教壇に立つことができず、農民は畑を耕すことができず、処理されず放置された汚物は、魚、水生哺乳類、畑を汚染します。

## 私たちにできること

しかし、希望はあります。数十年前にポリオの問題がそうであったように、難題が山積していても、私たちにできることがたくさんある、とアメリカに拠点を置く非営利団体「Water Advocates」の副所長のジ

ョン・オールドフィールド氏をはじめとする専門家は言います。Water Advocates は、世界各地のさまざまな公共団体、民間団体と手を組み、飲料水と衛生危機に関するグローバルな問題に取り組んでいます。

「安全な水を手に入れるのは、地球上で 83%、トイレを使える人は

60%です」とオールドフィールド氏は指摘します。「アメリカ、西ヨーロッパ、日本、オーストラリアでこの問題は解決済みです。水とトイレが完備されているところはたくさんあります。私たちは、何が解決の糸口なのかを知っています。私たちに必要なのは、政治家と民衆の意思です。それさえあれば、資金は後からついてきます」

この分野で活動する人々は、特に国連ミレニアム開発目標に焦点を当てています。目標 7 の「環境の持続可能性の確保」では、2015 年までに安全な飲料水と基礎的な衛生設備を持続可能な形で利用できない人々の割合を半減させることを目指しています。

世界では水に関する目標が達成されつつありますが、衛生面での取り組みに遅れが見られます。戸外での排せつは減少しているものの、現状では、目標の期日までに改良トイレを使えない人は 1 億人しか減らない計算になります。これは目標の 24 億人をはるかに下回る数字です。

最も深刻なのは、サハラ以南のアフリカで、人口の 42%がこの問題に直面しています。彼らは未整備の水源から水を得ています。中南米の一部と同様に、アジアでも同じ問題が生じています。十分なトイレの設備がなく、深刻な問題となっているのはアジアの南部で、48%の人々が戸外で排せつをしています。

こうした状況に、国際ロータリー (R I) は懸命な取り組みを続けてきました (「数字で見るロータリーの活動」を参照)。特に、R I の水対策支援グループと水と衛生のロータリアン行動グループの 2 つのグループが、水や衛生に関連するプロジェクトに関心のあるクラブへの助言や支援、指導をしています。

その行動グループの初代委員長でパストガバナーのロン・デンハム氏は、ユニセフ、国際ケア機構 (C A

## 女性と水

ドミニカ共和国ではロータリアンが約 300 の地域社会に、1 万 9,000 のバイオサンド・フィルター導入を援助し、10 万人の住民が恩恵をこうむりました。単純な構造でコストのかからないこのフィルターが、下痢を 45%も減らすことがわかっています。プエルトプラタ・イザベル・デ・トレス RC の会員、サラ・ルセナ氏は、このフィルターが個人の健康だけではなく、家族全員の生活改善につながっていると話します。

ルセナ氏は、子どもがあまり病気にかからなくなるので、母親は仕事をしたり、学校へ通う時間がもてるようになり、ひいては家族全体が貧困から抜け出すのを助けます。「すべてが循環しているのです。単に健康だけの問題ではありません」と続けるルセナ氏。「このフィルターが生活を変えるカギになるのです。家族の健康管理ができれば、家族の生活も管理できます」

世界の多くの地域では、古くからの習慣に従い、女性が水を使って、炊事、洗濯、風呂たきをしています。水が乏しい地域であっても、日常に必要な水を探して、集めてくるのは女性の仕事です。ガーナ北部の女性は、川やそのほかの水源地まで往復 3 マイル (約 4.8km) 歩き、45 ~ 65 ポンド (約 20 ~ 30kg) もの水バケツを担ぐ、と話すのは、ラミシ・ムビラー氏です。彼女は第 6290 地区 (カナダ・オンタリオ州とアメリカ・ミシガン州) が 3 月に開催した水会議で講演をしました。

サハラ以南のアフリカの女性たちは、合わせて年間 400 億時間を水くみに費やしています。これはフランス全土の総労働時間 (年間) に匹敵する、と国連は報告しています。

「女性は世界人口の半分を占めているのですから、私たちはこの問題に力を入れる必要がある」と訴えるムビラー氏は、2005 年のミス・ガーナに選ばれ、その活躍ぶりにミス・ワールド特別功労賞を授与された人です。「これは基本的な人権なのです」  
ダイアナ・ショーバーク



ラ・ゲルアでは水くみは主に女性の仕事



ラ・グルアからリオ・バジャボニコへ水くみに来た少年。子どもたちは水くみのために学校へ通う貴重な時間を奪われています

RE)、そのほかの団体の代表者と定期的に連絡を取り、水や衛生の危機的状況に対して最善の取り組みを決定しています。さらに彼は、「私たちはロータリアンが適切に支援し、パートナークラブや地元NGO（非政府団体）と資金面での補助を得られるよう支援して、ロータリアンが適切な解決策をつきとめられるよう手助けをしています。私たちは、情報と協力関係と技術支援の間に立つ、仲介人です」と言います。

### 教育がカギに

この危機解決に向けての対応は、包括的なものとなってきていると話するのは、コンラド N. ヒルトン財団で補助金プログラムの副部長を務めるエド・ケイン氏です。

同財団はサハラ以南のアフリカで安全な水を提供する活動に取り組んでいます。ケイン氏は続けます。「単にコップ1杯のきれいな水があればいい、というものではありません。病気を防ぐ方法として、水の管理方法や扱い方を教えなければ、地域社会の健康状態は改善しません」。トイレのないところで排泄が行われれば、「子どもたちが毎日、学校に

通うことも、健康的で生産的な生活を送れるような健康な地域社会を実現することもできません」

水が貴重なところでは、手洗いの大切さや、人間や動物のふん便汚染が地域全体の健康や暮らしに与える影響を教える必要があります。「家庭に安全な水を供給しても、普段の癖で、汚れたままの手で容器を触っていることが多い」とデンハム氏は言います。

さらに、解決策は持続性のあるものでなくてはなりません。地域社会が入手しやすい価格の部品を使って、将来にわたって水道システムに責任をもち、維持し続けなければなりません。「関係者全員の役割と責務を決めておく必要があります」と話するのは、CARE USAで水チームを率いるピーター・ローチェリー氏です。「適切な方針を定めて、これを実践することです」。

「そのシステムは、単なる慈善的な寄付としてではなく、地域の社会基盤の一部とみなされるよう私たちは確認しなければいけません」と述べるのは、ユニセフで水・衛生担当のクラリッサ・ブロックルハースト氏です。

### 数字で見る ロータリーの活動

**967** ロータリー財団補助金を利用した水・衛生プロジェクトの数  
**216** きれいな水を提供するための井戸の掘削が含まれている補助金プロジェクトの数

**142** 衛生環境を改善するためのトイレ設置が含まれる補助金プロジェクトの数

**161** 補助金プロジェクトが最も多い国、インドで実施されている水・衛生に関する補助金プロジェクトの数

**561** 2007-08年度、ロータリー財団が水・衛生プロジェクトに授与した補助金の件数

**860万ドル** 2007-08年度、ロータリー財団が水・衛生プロジェクトに授与した補助金の額

**4,560** 1989年から2009年5月までに、ロータリー財団が水・衛生プロジェクトに授与した補助金の数

**5,920万ドル** 同時期に、ロータリー財団が水・衛生プロジェクトに授与した補助金の額

2009年5月現在

## ロータリーの対応

世界中のロータリアンがこの問題に取り組んでいます。ガーナの K.O. ウィリー・ケテクパストガバナーによると、きれいな水を入手できる人は 60%に満たず、トイレや衛生設備が整っているのはわずか 30%ほどです。人口の 70%が住む

農村部ではさらに状況が深刻で、国内の 21 のロータリークラブがこの地域で集中的に活動しています。

「私のクラブは昨年、8つの農村で手押しポンプ付きの井戸を掘って、貯水タンクを提供しました。今年、また別の 8つの地域に活動を展開する予定です。最近では水とともにトイレのプロジェクトを実施

しています。長い建物に男女別々のトイレや手洗い場を提供して、多くのクラブが学校や診療所に水とトイレの対策のために活動をしています。私たちはこれを規格型トイレと呼んでいます。ガーナの保健省が特に認定したデザインなのです」

ケテクパストガバナーは、R I とアメリカ国際開発局 (U S A I D) の新しい協力関係に大いに期待しています。この関係を通して、ガーナ全土に約 200 の新しい水施設や衛生施設の設置を意図しています。

衛生教育や地域組織にもその資金は出資されます。将来にわたって設備を維持するために、女性を中心に住民が利用者から少額の料金を集めるよう指導されます。この料金はどの家庭でも支払えるごくわずかなものですが、それでも無理な場合は免除されます。このように現地の人々がビジネスにかかわることで、プロジェクトをより強力に長期的に組み立てていくよう育成され、施設が自分たちのものであるという自覚が徐々に浸透していきます。

ケニアでは水と衛生のロータリアン行動グループのメンバーで、気候学の教授であるロータリアン、エドワード・カイル氏が次のように語ります。「ナイロビで人口が密集しているスラムに衛生施設をつくることにクラブが焦点を絞って活動しています。スラムではトイレも水道もほとんど整備されていません」。平屋造りの建物の中には、男女別の水くみ場、シャワー、トイレが設置されます。約 80 万人が住んでいるといわれる都市部のスラム、キベラでは、こうした衛生施設が 10 か所に設けられ、毎日 2,000 人が利用しています。施設は地域の開発団体が管理し、利用者から使用料を徴収しています。

「コレラが発症し、病気や寄生虫がまん延しています。子どもたちは廃棄物だらけの中で遊んでいます。

## 水を介する感染症

世界保健機関の推定によると、全世界の疾病の約 10%は、水供給、衛生、水源管理を改善することで予防できるといいます。予防できる主な病気は以下の通りです。

### 下痢

- ・ 汚染された食品や飲料水または汚れた手を介して感染。
- ・ 年間 180 万人が命を落とし、そのほとんどが子ども。

### 腸内寄生虫

- ・ 糞便で汚染された土に触れるか、寄生虫の卵が口に入るかして感染。
- ・ 多くの場合、貧血や栄養失調を引き起こす。
- ・ 世界で 20 億人が感染。

### 住血吸虫症

- ・ 寄生虫症は内臓を傷つけ、子どもは貧血を起こしたり、栄養失調に陥る。
- ・ 汚染された水で感染。
- ・ 世界で 2 億人に影響。

### トラコーマ

- ・ 目の感染症で、失明に至る。
- ・ 人から人へうつる。
- ・ 発症件数は、年間 1,100 万件。

### 栄養失調

- ・ 食糧不足、間違った食品選び、病気のために栄養を吸収できないなどの理由で起こる。
- ・ 主に下痢や回虫によって引き起こされる。
- ・ これが直接的または間接的な原因となって、5 歳未満の子どもが 1 年間に 86 万人死亡。



プエルトプラタの住宅地を流れる排水やごみ。ドミニカのロータリアンはきれいな水を提供するため活動を続けています

スージー・マー

雨が降ったり、洪水になるとこれが顕著になります。汚物が流されずに残り、想像を絶する状態になるので、これを改善するために活動の一環として排水路の整備をしています」とカイル氏は話します。

自然災害で、きれいな水が得られなくなることもあります。イスタンブール郊外の小さな町では、地震で給水施設が破壊されたとき、住民たちは施設を再建する資金がありませんでした。「主に女性と子どもたちが、近隣の村まで何キロも歩いて水くみに行っていました」と説明するのは、アメリカ・カリフォルニア州キャンベルRCの元会長、デイビッド・ケラー氏です。同クラブは、イスタンブール・トプカピRCと協同で水を提供するプロジェクトを実施しました。

2007年7月、山の水源13か所からきれいな水がパイプラインを下り、1,285人の村人に供給する500トンの水を、処理施設に届けられるようになりました。村は水の使用料を決め、その料金で新しいシステムを管理するようになった、とケラー氏は話します。「私たちは、地元のロータリークラブを通じて村の長老たちとともに、このプロジェクトを実施しました。村人からは驚くほど謝意があふれ、人々は感激して涙ぐんでいました」

きれいな水、改良トイレ、衛生設備をつくるには難しい課題があります。しかし、解決策はあり、目標は実現可能なものです。「もうお仕上げ、こんな目標は達成できない」と投げ出しはけません」とヒルトン財団のエド・ケイン氏は言います。「ミレニアム開発目標、特に、安全な飲料水を持続可能な形で利用できない人々の割合を半減させるという目標を見てください。人口の増加も考えると、これは大きなステップです。世界はこの目標を達成するために着実に動いています」 アン・スタイン

## 水に関する技術

水質や衛生環境を改善するために、ロータリークラブや地区のプロジェクトで用いられる技術をご紹介します。

### 水質

**塩素消毒：**ウイルスや細菌を殺すために、水に次亜塩素酸ナトリウムを加える。(世界保健機関によると最も費用対効果の高い方法)\*

**日光消毒：**水中の病原体を不活化、破壊するために太陽の紫外線を利用。透明なプラスチックのボトルに水を入れ、6時間以上、日光に当てる。(塩素消毒と比べて、費用対効果がやや劣る)



プエルトプラタの家庭でバイオサンド・ウォーター・フィルターをテストするドミニカ共和国のロータリアン、サラセナ氏とボブ・ヒルドレス氏。

**バイオサンド・フィルター：**コンクリートまたはプラスチックの箱に入った砂の層に水を通し、堆積物、病原体、そのほかの不純物を取り除く。一番上の微生物の層に水を通すことで、病原となる細菌を除去できる。細菌よりも大きな不純物は、水が砂の層を通過しながら、ろ過される。(初期費用が殺菌法よりも高い)

**セラミック・フィルター：**プラスチックの容器の中に、銀コロイドで塗られた陶器(セラミック)を入れる。陶器に水を入れると、不純物は細孔を通過できずに陶器内にたまり、銀コロイドが細菌を殺す。(殺菌や井戸よりも費用がかかるが、健康へのより大きな効果が期待できる)

**掘削孔：**エンジン駆動のらせん状ドリルを使って掘られた、細く深い井戸。手動または電動のポンプで水をくむことができる。(塩素消毒や日光消毒の約2倍の費用)

### トイレ

**くみ取り式トイレ：**最も簡易型のトイレ。地面に穴を掘り、穴の空いた衛生的な厚板で覆う。

**バイオ・トイレ：**分解装置につながっている穴式トイレ。人間の排せつ物から出た細菌が地下のドーム状のスペースで排せつ物を分解し、メタンガスをつくる。無臭のメタンガスは料理や燃料に使用される。

\* 水に関する技術の費用を比較する場合、設備費、総合的な効果、受益者の数を考慮して計算しなければなりません。費用は地域によって大きな差が見られます。

スージー・マー

# 水の専門家に聞く



ブロックルハースト氏



ケイン氏



デンハム氏



ローチェリー氏

きれいな水の将来について、専門家が語ります。パネリストは、クラリッサ・ブロックルハースト氏（ユニセフ、水・衛生部門責任者）、エド・ケイン氏（コンラドN.ヒルトン財団補助金プログラム副部長）、ロン・デンハム氏（パストガバナー、水と衛生のロータリアン行動グループ創設委員長）、ピーター・ローチェリー氏（CARE USA水チーム・ディレクター）です。

左上の写真（Rotary Images/Alyce Henson）を除いて写真提供は各パネリストより

**世界中すべての人が安全な飲み水を得ることは可能でしょうか。**

**クラリッサ・ブロックルハースト：**可能だと思います。統計を見ると、（国連の）ミレニアム開発目標7（環境の持続可能性の確保）にある水の供給に関して、目覚ましい進展が見られます。2008年には安全な飲料水を得られない人の数が、10億人弱に減りました。農村部ではまだまだ努力が必要ですね。都市部のスラムも同様です。確かに、まだ仕事が終わったとは言えない状況ですが、少なくとも進歩していると言えます。

**エド・ケイン：**私もそう思います。世界の人口は増え、そして、水が足りない地域もあります。しかし、適切な管理をすれば、安全な水とトイレを確保するという人々のニーズは満たせる、と最近では考えられています。

**ロン・デンハム：**私たちにはビジョンがありますが、これからも水を得られない人が見つかるでしょう。世界には、環境を整備するのが極めて難しい人里から遠く離れた村があります。WHO（世界保健機関）の基準を満たすものではありませんが、比較的安全な水を提供できるところ

もあります。しかし、それだけでも病気を減らすには大きな効果があります。

**ピーター・ローチェリー：**私も、皆が水を得られるようにできると信じています。世界には、水が不足しているところもありますので、必ずしも、欲しいだけの水が得られるとは限りません。それでも世界中の人が、1日に少なくとも1人40ℓの水を得られるようにできると考えています。これが、私たちが実現しようとしているレベルです。

**水の利用で、一番の課題は何でしょうか。**

**ブロックルハースト：**持続性です。予備の部品を調達し、システムを作動させるための資金を徴収する能力をもって人々にシステムを維持、管理するのを任せるための地域社会の基盤を構築しなければなりません。気候の変動も障害となっています。雨量の変化がより激しくなり、干ばつの地域も出てくるでしょう。

**ケイン：**人口増加が挙げられます。地球温暖化も課題の一つです。先進国においては、人口の3分の1の人々が安全な水を得られず、約半数が十分な衛生施設を利用できない状

態だという認識が欠如しています。私はもっと多くの人が問題を認識すれば、状況が進展し、資源が増えるのではないかと信じる一人です。

**デンハム：**大都市では資金的な問題がありますが、ロータリーでは、小さい地域社会や村も対象にしています。最大の課題は、現地の人々に自分たちで管理する能力を与えることです。現地の人々に他人事と受け止められたためにロータリアンが何かしても、その場限りで終わってしまうことがあります。

**ローチェリー：**投資が必要であることは明らかです。しかし、水の管理にかかわる大きな問題もあります。物理的に設備を設置するということだけではなく、その使用方法や維持費や修繕費を誰が支払うかという問題です。料金を設定する際は、利用者の声が十分に取り入れられるよう、しっかりとした管理体制が必要です。

**問題の解決に向けて、ロータリアンやそのほかの奉仕団体にできることについてのアドバイスをお願いします。**

**ブロックルハースト：**水、トイレ、衛生設備の問題は、密接に絡み合っ

ていると認識しなければなりません。井戸を掘る費用を出すのなら、政府の方針や水供給、衛生担当部門のほかの活動と調整を取る必要があります。誰もが施設の建設に焦点を絞ってしまいがちですが、石鹸を使った手洗いや、トイレを使用することの大切さを教えることのように、ほかにもたくさんすることがあります。トイレと水道を完備した学校をつくることに関して、ロータリアンやそのほかの人々の支持を得られれば、よう呼びかければ、大きな成果が挙がるでしょう。

ケイン：独自に新しいプロジェクトを始めようとしなくていいことですね。今、その国で進められている計画や手法を十分に把握し、その中で、自分がどの範囲で力になれるかを見極めることです。その活動の成果が挙がっていない場合、その機能しない手法の一部になるべきだと言っているではありません。しかし、既にたくさんの方の手法が実施されているのですから、余分なことをしようとしているのかを確認する必要があります。

デンハム：現地の人の声に耳を傾け

てください。彼らの意に沿ったかたちで発展するように手助けをし、維持や運営に必要な資金を得る支援をします。先入観は捨ててください。水が必要な場合もあれば、汚染された水を浄化する必要がある場合もあります。その上で最もふさわしい解決策を見つける必要があります。それは独自の文化に適した技術と、人々が長期的に使用できるという条件を併せもっている必要があります。その地域の文化を理解し、適応することです。地元の権威にも参加してもらいましょう。水の供給だけに絞らず、住民の生活を考えてください。少女たちが学校へ行っていない場合は、学校のトイレを設置するよう取り組む必要があるかもしれません。そして、地元の労働力を最大限に活用します。

ローチェリー：私たちが5～10年かけた長期的なプログラムに従った取り組みをするなら、維持と反復可能な取り組みという点から最も成果を上げることができるでしょう。ロータリアンは大所高所から考えることが必要です。 アン・スタイン



ロータリアンがバイオサンド・フィルターを提供する以前、レオニダ・バージさんは、品質の疑わしいペットボトルの水を購入しなければならなかった。今、きれいな水が利用できるおかげで、生まれたばかりの息子を健やかに育て、さまざまな病気を予防することができます。

## 国際 H<sub>2</sub>O 協力

国際ロータリーとアメリカ国際開発庁 (USAID) の革新的な提携関係により、発展途上国で長期的な水・トイレ・衛生設備のプロジェクトが始動し、ロータリアンにこれらの重要な問題に取り組む機会がもたらされます。3月に発足したこの提携関係は、「国際 H<sub>2</sub>O 協力」と呼ばれ、まずはドミニカ共和国、ガーナ、フィリピンでの活動に焦点が当てられます。1か国につき200万ドル必要になる資金は、ロータリーとUSAIDが半分ずつ負担しています。「私たちは、こうしたプロジェクトを、今後行われる戦略的パートナーとのプロジェクトの模範とし、世界理解、親善、平和へのさらなる貢献につなげていくことを目指しています」と話すのは、国際 H<sub>2</sub>O 協力運営委員会の委員長を務めるウィリアム B. ボイド元 RI 会長です。詳しくは、[www.rotary.org/go](http://www.rotary.org/go) (画面下の「日本語」をクリック) をご覧ください。

### オンラインで

フィンランドのロータリアンが、マッチング・グラント・プロジェクトでザンビアの1万2,000人にきれいな水を提供。メキシコのロータリークラブが、地元プロジェクトで学んだことを生かして、マラウイの5,000人を援助。詳しくは、[www.rotary.org/go](http://www.rotary.org/go) (画面下の「日本語」をクリック) でお読みください。

### 本号編集関係者

Anne Stein は、『THE ROTARIAN』誌に寄稿記事を提供している、シカゴ在住のフリーライターです。Susie Ma は、シカゴのフリーライターで、過去の「Global Outlook」にも寄稿しました。Diana Schoberg は、『THE ROTARIAN』の編集者です。

「Global Outlook」は、国際ロータリーにより3か月に1度発行されます。Copyright © 2009。編集責任者：Joseph Derr、特別記事編集：Barbara Nellis、デザイナー：Avery Mamon、制作調整：Candy Isaac、写真提供：Rotary Images/Alyce Henson (特記のない場合)、編集諮問パネル：Bob Aitken (Rotary Down Under)、T.K. Balakrishnan (Rotary News/Rotary Samachar)、Carlos Henrique de Carvalho Fróes (Brasil Rotário)、Andrea Pernice (Rotary)、Matthias Schütt (Rotary Magazin)、翻訳：RI 日本語課、ロータリーの友編集部

毎年  
あなたも  
100ドルを

ペルーの南東部にあるサンタ・ロサ・デ・フアカリア村に新しく設置された水飲み場で水を飲む8歳のクロリンダ・パロミナちゃん。この水飲み場は、米国カリフォルニア州、バーノン・ロータリー・クラブが2,500ドルの地区補助金を使って設置したものです。地域の住民に安全な水を供給するため、ほかにも3つの水飲み場が設けられました。

皆さんからのご寄付で、世界中の子供たちが安全な水が飲めるようになります

寄付にご協力ください。



[www.rotary.org](http://www.rotary.org)